学校法人ラフ＆ピース　沖縄ラフ＆ピース専門学校　学校関係者評価委員会　集約版

【2025年5月2日実施】

2024年度自己点検自己評価（2024年4月1から2025年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	点検・評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりのご意見
1 教育理念・目的・育成人物像	1-1 理念・目的・育成人物像は定められているか 1-2 学校の特色は何か 1-3 学校の将来構想を抱いているか	3	沖縄ラフ＆ピース専門学校は、吉本興業によって設立された学校法人ラフ＆ピースに属し、沖縄の地で「世界レベルのエンターテインメントを支える基盤を醸成し、一大エンターテインメント産業群の形成を目指し、本校の取り組みによって本格的な世界レベルのエンターテインメントを学び育成される人材により、クールジャパン推進等での日本全体の文化振興と経済的効果の循環に貢献する」ことを理念としています。 本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、エンターテインメント及びこれに関連する業界での業務に従事しようとする者に対し、高等教育の基礎の上に必要な知識及び技能を授け、併せて心身を鍛錬し、社会に有用な人材を養成することを目的とします。 真に世界で活躍できる最先端の技術と、応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会の第一線で長く活躍できる人物」の育成を目指します。 当校の特色は、学生にエンターテインメントの基礎と応用を体得させ、エンターテインメントの表現や創作をより実現性をもった作品へと落とし込むための能力を身につけさせるための組織的な教育の実施を行います。 具体的には、エンターテインメントの総合的理解と作品を構築していくための基礎を形成する基礎科目、各エンターテインメントの流れを実践的に学ぶ実践科目、エンターテインメントを構築する方法及び新たな企画やコンセプトを実現可能にする方法の習得を行う展開科目（進級、卒業制作など）、企画やコンセプトを具体的に制作して他者に見せることのできる「エンターテインメント作品」に落とし込む実践的なトレーニングを行う演習（各種プロジェクト）を実施します。 当校は、将来の構想として、「エンターテインメント」を「仕事」として捉え、学歴や能力、ハンディキャップに関係なく、適性に応じて「居場所」を見つけることができる多様で裾野の広い「職業」であると考えることから、地元の子供たちに「夢」と「生きるための技能」と「働く場」を与え、それを沖縄全島に拡大し、さらには日本全国やアジア全域、全世界の若者や子どもたちが「好きなことを仕事にする」という夢を見つけ育む「場」に育てて参ります。	吉本興業が設立した、沖縄ラフ＆ピース専門学校は、16回を超えて開催している「島ぜんぶでおーきな祭・沖縄国際映画祭」での活動を通じ、沖縄県が個性豊かで多様性に富む歴史と芸能・文化という貴重な産業資源を有していること、加えて、アジア各国と至近の距離という地理的アドバンテージを持つという点で、アジア全域のエンターテインメントにおける人材の育成・交流のハブとして優れてふさわしい場所だと考えております。 このような沖縄で、エンターテインメントの高度な人材が多数育成、輩出されることで、これまでになかったエンターテインメント分野の仕事と産業の創出に大きく寄与し、俳優・声優・ダンサーなどのエンターテイナーならびに、撮影・照明・音響、ライブ・イベント等の制作、動画ディレクションや編集等に代表されるバックヤード関連産業を支える人材、そして、マンガ家・イラストレーター・アニメーション3DCGクリエイター等クリエイターの輩出にも繋げております。このような沖縄で、エンターテインメントの高度な人材が多数育成、輩出されることで、これまでになかったエンターテインメント分野の仕事と産業の創出に大きく寄与し、人材の輩出にも繋げております。	3	・業界を通して、現場で卒業生と会う機会も多く、専門学校が育てた人材が活躍していて嬉しく思う。 ・沖縄でどうやったら活躍できるか、自分を見せられるか。学校の教育を通して、これまで同様に方向性を示していただければ良いと思うので、在学中の生徒にプロの現場を経験できる場の提供等で運動できればと考えている。 ・エンターテインメントは幅が広いので、ビジネス面（アミューズメント施設やサービス産業）のエンターテインメント、特に観光立県である沖縄特有な店舗（リゾートホテルや民謡居酒屋など）もエンターテインメントとして学ぶべきことは多いので、そういった分野の方も教育の中に取り入れるのも良いかと思う。 ・表現者としての技術だけでなく、表現者としての在り方、自分自身の人生をマネジメントできる経営力も身につけさせてあげて欲しいと願う。
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか 2-5 事業計画は定められているか 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 2-8 意思決定システムは確立されているか 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	吉本興業グループは、お笑いをはじめ、様々なライブエンターテインメントを発信してきました。さらに、各種ライブ公演を通じて培った国内外のショービジネスネットワークをベースに、日本でそれらのノウハウやメソッドを体系化し、様々なスクール事業を展開しています。 その中で設立した学校法人ラフ＆ピースの運営方針は、色々な人がエンターテインメントの中で「居場所」を見つけ将来生きていく場所として、人を楽しませるための技術パフォーマンスなどを、楽しみながら習得できる環境であること。また、常に面白いことを求め、チャレンジ精神を忘れず、吉本興業のプロジェクトと連携しながら最先端のエンターテイメントを学習プログラムとして取り入れ、沖縄のみならず、日本各所にて本校でしかできない貴重な経験を積み上げられる環境づくりを目指して運営しています。 事業計画については、毎年事業計画書を作成し、理事会、評議会の決済を受け、承認を得ることになっています。また、事業計画は全教職員で周知徹底し、学校の方針や方向性、組織、各部署における取組や職務分掌、各種会議、および研修等々について明確に示されています。 運営組織は、校長を中心とした教務部、事務局が、企画立案したものを意思決定し、それぞれの決済レベルにより、理事会、評議会による承認をはじめ、効率的な意思決定が行われています。 人事や賃金での処遇に関する制度は、規定を設け、その内容に沿って運営されています。 情報システム化については、専任のシステム担当を置き、学校運営に必要とされる情報や機器の管理について独自のシステムを運用しながら、効率化を図っています。	本校では、現場の感覚やプロとしての実体験ができる場を創出するということが必須だと考え、プロの指導のもと作品を制作、実演する産学連携の実践カリキュラムや、「島ぜんぶでおーきな祭・沖縄国際映画祭」（那覇市）「Laugh＆Peace Live～音楽と笑いの祭典～」（南城市）をはじめとする、吉本興業の事業プラットフォームとの強力な連動、さらに優秀な学生は在学中からでもエンタメ業界へデビューできる機会の提供など、学んだ先のアウトプットも明確にしたスクールとなっております。 このような吉本興業の人材育成システムと連動し、常に連携を取りながら人材の成長を促し把握できるように共有する体制を設けるようにしております。これらの取り組みにより、業界の第一線で活躍できる技術力と、応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会で長く活躍できる人材」の育成を目指します。 学校の運営については、設立者でもある吉本興業グループとの連携を重視しながら、すべての情報を共有し、吉本興業のグループの教育事業の一環として、運営方針、事業計画、意思決定、人事、賃金について、情報システムにおいても、週報ベースでの報告、月次の報告、年次の報告を常に行っております。	3	・本校では進級・卒業のイベント、展示会等を実施している。普段、吉本興業で行っているライブ等のノウハウも使いつつ実際にお客さんにチケットを買っていただきご覧いただくようなライブを行っている。そのため、産学連携も充実している。 ・卒業後の進路としましては、俳優志望の生徒にオーディションを行った結果、吉本興業所属となった。 ・プロダクション系は、吉本興業でのスタッフとしての採用実績があり、積極的な採用を実施している（東京、大阪）。 ・技術だけでなく、その技術を使い、社会で長く活躍できる一人財の育成を行っていただくと同時に長く活躍できるために一番必要なリスクマネジンメント力などを身につけさせて欲しいと願う。 ・難しいとは思うが、素晴らしい内容の授業カリキュラムを組んでいるので、社会人の方の学び直し（リスキリング）を将来的に検討してはどうか。

大項目	点検・評価項目	自己評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	点検・評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりのご意見
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像 は、その学科に対応する業界の 人材ニーズに向けて正しく方向 付けられているか 3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか 3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが 実施されているか 3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか 3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか 3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 3-18-2 資格取得の指導体制はあるか	3	パフォーマー育成学科とクリエイター育成学科それぞれで、高い専門性を持ったプロフェッショナルな人材育成を目標とした段階式プログラムを実践。意欲的な学生には積極的に学科をまたいで受講できる機会を提供。各業界において現役で活躍中のプロフェッショナルを講師として招聘することで、常に業界ニーズに見合う人材育成と、それに則したカリキュラムを編成実施。さらに、現場の感覚を体験するということが必須だと考え、実際に観客を募集し、プロによる指導のもと公演やイベントを制作、実演する実践カリキュラムや、業界トップレベルの会社と連携した実務作品制作や、産学連携による企業・撮影現場などでのインターンシップの機会を提供します。 真にエンタメ業界で活躍できる最先端の技術と応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会の第一線で長く活躍できる人材」の育成を目指します。 2年間の修業年限に応じ、未経験者からでも修学できるように、教育到達レベルを以下に定めています。 ① エンターテインメントやクリエイティブ業界の基礎知識を学習する ② エンターテインメントやクリエイティブ制作・実演における基礎知識・技術を学習する ③ 表現を豊かにするための感情開放・コミュニケーション技術の習得する ④ エンターテインメントや芸術に対する固定観念の柔軟化 ⑤ 最先端の技術を機材やソフトを活用し実践的に学習する ⑥ 企画・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を身につける ⑦ 制作・実践能力を身につける ⑧ パフォーマー・アーティスト・クリエイターとして、創造力・表現力を身につける ⑨ デビュー・就職先を絞り込み、社会的対応力を身につける カリキュラムは、各学科で履修システムを策定し、体系的に編成されています。 自身の専攻分野を学ぶだけではなく、他の分野を学習することを通して自身の専攻する分野に役立てたり、また、他の分野との共同作業を行う上で必要なコミュニケーションの能力を養うために、複数の専門分野について学ぶ「クロスオーバーカリキュラム」を採用しています。そして、各学期の開始前には履修アンケートをもとにガイダンスやカウンセリングを行い、学生と教務職員、学科担任とが協議しながら将来の方向性に合わせたカリキュラムを構築していく「トライアル」期間を設けており、半期ごとに授業の見直しや、コースの変更などにも対応しうる履修の考え方で2年間のプログラムを組み立てています。 カリキュラムの構成 ●ベーシックカリキュラム エンターテインメントやクリエイティブの業界で仕事をしていく上で必要となる基本的なスキルを学ぶためのカリキュラムです。各学科、コースごとに履修科目、履修期間が設定されています。 ●アドバンスカリキュラム 各学科、コースの分野について専門的なスキルを学び自分自身のパフォーマンスおよび制作能力を向上させていくためのカリキュラムです ●プロジェクトカリキュラム（制作・演習実践講座） プロの現場に近い環境での共同作業や実技披露を通して、実践的技術力や表現力を養うためのカリキュラムです。全学科、コースの在校生が協力して、あらゆるメディアの制作を行っていきます。イベントやプロジェクトごとに役割に応じた設定があり、自分にあったステップで学ぶことができます。 ●スペシャライズカリキュラム コース履修科目をしぼって、より深く学ぶための特別カリキュラムとなっており、ヴォーカリスト・演技の科目において開講しています。 ●特別科目 通常授業とは別に行われる科目群で、以下のものがあります。 ・特別講義、進級制作、現場研修、業界研修、インターン・就職・進路対策プログラム、卒業制作 以上の組み合わせで、2年間のカリキュラムが構成されています。 パフォーミングアーツ学科には、声優・俳優、ヴォーカリスト、アイドル・タレント、ダンサー・パフォーマー、K-POP、映像、ライブ・イベント制作、スーパーマネジメント、音響テクノロジー、総合エンターテインメントの計10の科目、クリエイティブ学科には、マンガ、イラスト・キャラクターデザイン、アニメーション3DCG、ゲームグラフィックス、企画・演出・シナリオの計5の科目を、カリキュラムの中で適正な位置付けで設置しています	修学科目が、業界における人材ニーズに即したものであるかを随時検証し、科目の増設および編成をおこっております。 2018年度には2学科4コース編成でありましたが、2019年度からは2学科15コースに増設、2020年度からは2学科14コースにて編成しております。 また、2021年からは高等課程を新設し、中学校卒業後からすぐにエンターテインメント・クリエイティブについてめいっぱい学びたい方たちに学びの場を提供させて頂いており、卒業時には「大学入学資格」も付与が可能となっております。 2024年度からは、「K-POPコース」ダンサー＆ヴォーカルコース専攻、「K-POPコース」スタッフコース専攻を新設し、新たな分野として、カリキュラムを発展してまいりました。 留学生に対しては、日本語検定資格取得や就職に向けて、日本語教育の講師を招いた指導体制を整えております。 一人の強みと、その生徒自身が見つけ．表現し自己プロデュース力を身につけ エンターテイメントの世界で幸せに生きていける力を身につけさせて欲しいと願う。	3	・私自身、声優を目指して入学したが、現在は俳優として活動しているように、多彩なコース設定とそれらを自由に選べるカリキュラムは良いと思う。オーディション等の支援としては、私も在学中に吉本坂46に合格することができ、アイドルとして活動することができたが、それは声優だけではなく、ダンス等の授業等を受けることが出来たことで、アイドル活動がスムーズにできたと思っている。また、現在は俳優だけではなく、MC等の違った分野の活動できており、この学校の幅広く様々なジャンルが学べるカリキュラムの良い点の成果だと思う。 ・在学生の皆さんには、自分の目指している分野だけではなく幅広く学び、これからの進路について可能性を持っていただければと思う。 ・様々なコースを設けつつも、その一つ一つのコース（授業）に現場で実際に活躍しているプロの方を講師に招き授業を組むというのは、大変生徒の身になることであり素晴らしいと思う。また、その中でも段階を踏んだ授業を行うことで、全くの素人が卒業時には、第一線で活躍できる人材に育つ環境作りをされている点も感心する。

大項目	点検・評価項目	自己評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	点検・評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりのご意見
4 教育成果	4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 4-20 資格取得率の向上が図られているか 4-21 退学率の低減が図られているか 4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	本校では、就職希望者の全員就職を目指し、吉本興業グループを中心とする関連企業をはじめ、沖縄県内のエンターテインメント関連企業に至るまで、学生一人ひとりの希望に応じた一般企業や所属プロダクション等への進路希望を実現できるよう求職者就職率、専門就職率の向上を図っています。また、吉本興業グループ関連企業を含む33セクションにおける進路セミナー、合同オーディション開催に加え、吉本興業に集まった各種オーディション情報・コンテストなどの提供。また、就職セミナー、就活対策ゼミ、個別進路説明会、相談会を実施しています。 個人の希望を汲みながら、進路に応じた資格選考と提案を随時おこない、取得に関する指導を実施し取得率の向上に努めています。 退学率の低減においては、一人一人の抱える問題点を把握するために定期的に個別の相談会を行い、履修したい内容に応じたカリキュラムの再編成や学生生活の改善に取り組んでいる。また、保護者との連携も重視し、三者面談を実施。家庭での様子や将来の意向、学外での社会的な活動や評価についても適宜把握をするようにしています。 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価については、各学生とのコンタクトや面談を定期的にとるようにし、レポートの提出や業界へのヒアリングを通じ、社会的な活動の実施状況、評価を把握するようにしています。また、グループ会社の吉本興業に向けても卒業生の活躍状況を会議やレポートなどで共有できるような体制を組んでいます。	「那覇市文化芸術劇場なはーと」や「パレット市民劇場」「沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー」といった公共施設を利用し、実際に観客を集めた演劇やライブ公演の実施、吉本興業公式youtubeチャンネルでのライブ配信、展示会の実施と、在学中からのエンタメ業界デビューや、作品発表の環境を整備提供いたしました。 資格取得による就職対策として、サーティファイ認定試験会場の認可校となっており、在学中からの資格検定対策を行っております。 また、留学生においては、日本語能力試験（JPLT）の対策授業を通年でおこなっております。 卒業生に対しては、卒業後も制作活動や、レッスンができるように学校施設・設備を毎日開放しています。また、オーディション・デビュー支援、就活支援、制作活動支援などを継続して行っており、卒業後プロダンクションへの所属をした者の活動の把握や、就職した者などのサポートをおこなっております。 また、設立当初はフリーター感覚の者もいましたが、現在ではよりプロフェッショナルに近いフリーランスに成長しております。	3	・クロスオーバーカリキュラムの成果としては、マンガの授業をクロスオーバーカリキュラムで受けた、イラストキャラクターデザインコースの生徒がマンガで新人賞を獲得した。 ・イラストキャラクターデザインコースの学生でも、新人賞に挑戦してもらうクロスオーバーカリキュラム制度がなければ成果が出なかったのではないか。 ・2～3年で方針を変更し、クロスオーバーカリキュラム制度を軸に指導方針を変えている。 ・最近の傾向を考えると、フリーランスとして活動したいと思う人は増えていると思うので、非常にすばらしい体制だと感じる。スピード感を持って、どんどん動きたい、動ける場合は非常に良いと感じますが、思うように動けず、手詰まりになってしまう学生さんもいると思うので、卒業後もフォローするサポートは非常に重要。また、フリーランスの場合、進路とは違って、ビジネス実務（営業、契約、請求など）もサポートが必要なのでうまくフォローして頂きたい。
5 学生支援	5-23 就職に関する体制は整備されているか 5-24 学生相談に関する体制は整備されているか 5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか 5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか 5-29 保護者と適切に連携しているか 5-30 卒業生への支援体制はあるか	3	学生の将来につながる成果を得ることができるよう、本校では学生への就職支援の環境整備を行っています。進路指導・就職の担当を置き、学生との就職相談および各企業からの求人、およびデビューに向けた所属先との連携を図っています。 学生相談に関する体制は、専門の窓口のみならず、インターネットを通じたチャットシステムなどを活用、どの職員に対しても気軽に相談を行える環境作りを行っています。 経済的側面に対する支援としては、各生徒ごとの就学事情に対応できるよう相談窓口を設け、奨学金ならびに就学支援制度の案内および、学費については分納延納などに対応しうる制度を設けています。 健康管理については専任の学校医を任命し、全学生対象の健康診断を実施するなど、学生の健康管理及び健康の維持を支援しています。 課外活動については、事前に学校への申請を受領し、問題のない課外活動を行うように確認指導を行っています。また、適切に実施される課外活動においては、学校の授業などに連携させることで単位として認定できるようにもしています。 学生の生活環境への支援は、学生寮はありませんが、独自に提携している不動産会社からの斡旋により、学生が安全かつ利用しやすい住環境の提供を心掛けています。 保護者との連携は、定期的に三者面談を行うことで実施するようにしています。また学内外でのイベントや展覧会を定期的に行い、それらを参観することで学生の成果を保護者の方に確認いただけるようにしています。 卒業後も本校の施設および吉本興業の各プロジェクトとの関わりを引き続き持ち続けられる「場」と「機会」を提供し、施設の利用や社会での活動を支援する体制を設けております。また、インターネットでのコミュニケーションシステムを通じて、各卒業生の状況についての把握にも努めるようにしています。	就職やデビューに関して、吉本興業グループが実施するエンターテインメントの現場を活用した実践授業を通じて「業界研修」の指導から、オーディション対策、個別相談、就職対策講座、就職支援セミナーを開催するなど、就職斡旋や業界デビューに関するあらゆる支援を行っております。 就職希望者に向けては、定期的に「就活ゼミ」とした就職支援プログラムを実施しており、担当職員が常時対応にあたっております。また、企業説明会・業界説明会を誘致し実施しております。	3	・吉本興業の法務部と連携し、デビュー等を目指す学生が芸能御プロダクションと契約する際の契約書のチェック等を行っている。 ・裏方スタッフ系コースの学生は、イベント関連、テレビ番組やCM、映画映像コンテンツなどを扱う会社に就職した。また、キャリア採用として、卒業生がジャングリア沖縄への就職が決まった。 ・生徒が根を張って活躍できる力と、自分をマネジメントする力を身につけさせていただけたら生涯活躍できる子になれると思うので学校側も応援、指導を賜れたら大変ありがたい。

大項目	点検・評価項目	自己評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	点検・評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりのご意見
6 教育環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 6-33 防災に対する体制は整備されているか	3	本校は、業界での即戦力人材となる事を前提として、各種機材・ソフト・プログラム及び施設に関しては、プロフェッショナルレベルのものを取り揃えています。また、それら機材を活用したイベント・ライブなどの本番制作ならびに、ソフト・機器を活用した作品展示会を定期的に実施し、実際の業務レベル相応の様々な状況に対応できるようにしています。 学外実習、インターンシップなどに関しては、吉本興業グループや協力企業と連携し、実際に社会で実施されているエンターテインメントの現場に赴き、実践的な修学ができるように教育体制を整備しています。 防災に関しては、防災訓練を実施し、災害時に備えセーフティボックスの設置や、AED設置・AED講習の実施、消防点検、避難所の確認などを行っています。	学内の設備や環境の利用にとどまらず、吉本興業の保有する劇場や、配信プラットフォームを活用し、学内だけでなく実社会に向けて作品やパフォーマンスを発表することでリアルな反響を実感できるように環境を整備しています。 また学外学習として、なんばグランド花月での劇場研修や県内外テレビ局での研修、番組制作研修、映画製作現場研修、CMや動画撮影等での現場研修、協力企業での技術職インターンを実施いたしました。その結果、テレビ局・テレビCM動画制作・イベント企画・音響・照明といった企業へ就職いたしました。	3	・ソフトに関しては、プロが使っているものを使用しており、Mayaという3Dのソフトは、学校で登録すると無料で使える。学生から要望があったソフトも学内で検討し、これからの時代に合っているようなものであれば導入している。 ・PCのメンテナンスやOSのアップデート、ウイルス対策等も学校に常駐しているシステムの担当者が常に対応しているので問題なく運営・管理ができている。 ・マネジメントコース生は1年に2回、東京と大阪に研修に行っており、吉本興業本社の劇場やテレビ局などの現場研修を実施している。また、県内のテレビ局や映画制作の現場等でのインターンシップに参加する機会も多く実施した。
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか 7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか 7-37 学納金は妥当なものとなっているか	3	本校は、沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた学生募集方法、募集案内、募集期間を遵守するようにしています。 各種メディア・媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して募集活動をおこなうとともに、学校告知を実施、教育内容および教育成果を正しく知ってもらうように努めています。 入学選考においては、募集要項に明示した「面接試験」を実施し、「入学選考会議」を行い適切に合格者を選考しています。 学納金は、教材や諸経費の無駄な支出を都度見直し、チェックしています。授業料及び諸経費の提示を入学前の段階において学生募集要項などに明記し、基本的に入学後の追加徴収を行っていません。	実際の職業や進路に近いイメージをどれだけ明確に把握しているかが重要とされるため、入学前には学校見学会、体験授業やワークショップ、オープンキャンパスを多数実施し、職業の理解と疑問点の払しょくに努めております。遠方の学生に対する支援としては、リモートによるオープンキャンパス、学校説明会、面接等も随時行っております。 また多彩な個性や環境をお持ちの学生の方々の受入れや修学カリキュラムにて対応できるよう、また保護者様につきましても個別の入学相談会などを開催し、その理解に努めるようにしています。 海外からの留学生は、中国・ジャマイカから入学をしています。	3	・沖専各と協力し、学生が早い段階から仕事について考える機会を設ける取り組みとして、中学校に出向き職業体験の講話実施し、学生や先生方から好評を得ており、その後実施校は増えている。エンターテインメントが、夢だけでなく将来の仕事として考える機会を増やしていくことが大切だと感じている。 ・高校生を対象に、新たに業界説明会を実施した。その際は、パフォーマー系・プロダクション系・クリエイティブ系の3つの分野に分け、エンタメ業界を目指すうえで「専門学校」と「大学」では何がどう違うのかを踏まえ、職業教育に強みがある専門学校の進路を、高校生が具体的にイメージできるような内容で構成した。
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 8-40 「財務」について会計監査が適正に行われているか 8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	3	毎年、次年度事業計画書を作成し、その事業計画の中に5か年の収支予算を立てています。設立6年目を経て学生の出願数は年々増加しています。一方で、設立時の初期費用が安定的な財務基盤を圧迫していることもあり、財務状況についての把握や資金についての対応は、設立者である吉本興業グループと連携しながら、理事会、評議会を通じて進めるようにしています。 財務については、所定の会計監査法人が監査を行っています。 財務情報の公開は、学校のインターネットを利用し、ホームページより公開されています。	正確かつ実現可能な予算作成のために、一度作成した予算が現実のものと乖離した場合には、それを修正すると同時に、理事会、評議会を開き、設立者である吉本興業グループと連携し、予算の再編成、資金の相談や支援を行うようにしています。 7年目を迎えた今年では、月次で会議を行い、予算の達成状況や資金繰りの状況を確認し、問題があればすぐにチェックし、修正できる体制を作っています。現在では予算との乖離は少なく、資金繰りについても順調に運営できるようになってきている。	3	・予算については月次で吉本興業と連携しながら毎月の予算達成状況、出費、収支の報告を行っている。 ・設立時に設備投資等でかかった費用は、すべて昨年度末に返済完了したので、現在大きな負債等はなく、今後も安定した学校運営を継続して実施していく。

大項目	点検・評価項目	自己評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	点検・評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	評価 優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりのご意見
9 法令などの遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 9-43 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか 9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	法令の遵守、コンプライアンスの遵守については、設立者である吉本興業グループ全体の方針として確立されており、教職員をはじめ、学生とともにその方針を理解し実行に努めています。 個人情報に関しては、その保護に向けて所定のポリシーを策定し、その遵守に努めています。 自己点検・自己評価の実施については、本校職員における自己評価委員を定め、その問題点を抽出し、改善するように努めています。 また、その結果をインターネットを通じて学校のホームページより公開します。	学生に対するコンプライアンスの意識を高めるために年間を通じて、沖縄県警ならびに警察OBの職員による授業を実施しています。 特に、反社会的勢力ならびに違法薬物との断絶啓発には力をいれ、パフォーマーやクリエイターとしてデビューするに際して支障なく活動できる知識を身に着けるように指導を行っています。 また、学生が就職・インターンシップ・オーディション・所属事務所などを行う前には、吉本興業のコンプライアンスガイドラインに沿って、属性調査の他、契約書の法務確認のサポート等も事前におこなっています。	3	・吉本興業の沖縄支社に常駐している警察OBが、専門学校の顧問も担当しており、コンプライアンス対応ならびに、関連講義を全学生対象として通年で実施している。なお、実際のコンプライアンス案件対応は、顧問の連絡先ならびに、吉本興業の24時間ホットラインも学生に共有しており、即時対応できるような体制を整えている。 ・吉本興業が作成しているタレント・制作者向けのコンプライアンスや制作ガイドラインをまとめた冊子があり、学生に共有している。 ・昨今問題となっている違法薬物、倫理観、ハスメント等を何故やていけないのかも含め、生徒の心に深く刻む取り組みを引き続きお願いしたい。
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	本校では、1階の公開スペースおよび2階のライブラリーを一般に公開し、地域の子供たちの居場所づくりに貢献しています。 また、年間を通じて都度実施するイベントなどを通じて地域の方々へエンターテイメント体験を提供し、学生の積極的な参加を奨励し、地域の方々との交流およびボランティア活動のきっかけとして支援しています。	近隣小中学生向け、学校主催のワークショップイベントを開催、学生が普段学習しているイラストやCGアニメーション制作を直接レクチャーいたしました。また、吉本所属パフォーマーや芸人、専門学校講師による無料のワークショップなどを開催。教職員および学生たちが、社会と連携し県内各所にてエンターテインメントを提供し、地域や各コミュニティの活動促進に協力を行っています。	3	・社会福祉協議会や近隣のこども食堂、教育委員会等と連携し、こどもの居場所の運営を継続的に実施している。 ・学校のスペースが、地域の子どもたちの居場所になっているということは素晴らしいと感激している。子どもたちは遠い存在の芸能人より、近くのお兄ちゃん、お姉ちゃんに興味を持って憧れるもの。沖縄ラフ＆ピース専門学校の生徒たちも、子どもたちの一番の憧れの存在になれるような、生徒と交流の場を引き続き提供していただけたらと思う。 ・国際通り連合会とも連携し、1万人エイサーイベントの際などの際学生がボランティアとして参加した。